



# 学校だより 5月

令和2年5月11日 横浜市立芹が谷南小学校

## 日々のつながりを大切に

学校長 高木 篤子

新緑輝く季節となりました。

スケジュール表を何度も書き換え、行事等の変更を重ねている今日この頃。「あたりまえ。だから愛おしい。」書籍コーナーに並んでいた本の帯がふと目に留まりました。当たり前だと思っていた日々の生活が戻ることを願っています。

「おはようございます。」と、明るい声が飛び交う昇降口。

「先生、あのね…」 「あ、分かった。できた！」と、活気あふれる教室。

「やったあ。休み時間だ。」 「みんなで遊ぼう。」と、歓声が響く校庭。

「いただきます。」と、献立を楽しみに当番が並んで受け取りにくる給食室。

休校の間、緊急受入れや校庭開放は行っていますが、ほとんどの時間、学校はひっそりとしています。

その中で、今できる準備を職員で着々と進め、子どもたちを再び迎える日を心待ちにしています。

「離れることがつながり続ける最良の方法」と考え、商標の文字の間隔を空けて、対人距離をとるように訴えているという新聞のコラムが心に響きました。

感染予防のために、安全な距離の保持を踏まえて、楽しそうに話をしている際でも、「間隔は大丈夫ですか。」「近づきすぎないように気を付けましょう。」と言わなければならない場面があります。この言葉を胸に、これからもっとたくさんお話して、一緒に遊んだり勉強したりしながら、ずっと仲良くするために、今は距離をとることが大事だということを子どもたちにも伝えたいと思います。もちろん、私たち大人も声をかけ合いながら、引き続き適切な距離の保持に留意しましょう。

当たり前だと思っていた一日一日を大切に。そして、つながり続けることを大切に。子どもたちが健やかに学校生活を送れますようにどうぞこれからもご理解ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

